

1. 平成29年度一般社団法人日本病理学会秋期特別社員総会(東京)開催報告

先の東京総会会期中の平30年11月2日(木)14:40~15:40, 日本教育会館 一ツ橋ホールにて, 標記社員総会が開催されました。

出席数 会場出席者180名, 委任状出席者数1,965名,
出席者合計2,145名

議長 清水 章 第63回秋期特別総会副会長

今回はその際の「報告事項」を抜粋してお送りいたします。尚, 以下の「協議事項」につきましては, すべて承認となり,

会報359号(12月刊)P1~

http://pathology.or.jp/side/pdf/KAIHO359_1221.pdf

にご報告いたしておりますので, そちらをご参照下さい。

協議事項

- 1) 平成30年度事業計画並びに収支予算に関する件
- 2) 第65回(平成31年度)秋期特別総会会長選出の件
- 3) 第109回(平成32年度)総会会長選出の件
- 4) 役員選挙制度変更にともなう役員(理事, 監事)規程改定の件

報告事項

1. 理事長報告

深山理事長が標記の件につき以下の報告を行った。

- (1) 自身が理事長として3期6年の任期を努め, その終盤となった。今後の課題を含めて本学会への思いを文章にし, 資料として配布した。
- (2) 現在の会員数は4,642名, 医師が3,789名, 歯科医師が334名である。専門医数は医科が2,404名, 口腔が144名, 病理研修登録者数は医科479名, 口腔64名である。日本に必要と考えている病理専門医3,000名の達成も遠くないと考える。
- (3) 現在の重要な課題と取り組みとして, 以下のことがあげられる。
 - ① 専門医制度プログラムが来春開始となる件
 - ② 会員システム導入の件
 - ③ ゲノム医療の進歩に対する病理学会の取り組み
 - ④ 平成30年度診療報酬改定
 - ⑤ 専門医の生涯教育充実とネットワークの活用
 - ⑥ 内科学会と共同し「病理解剖許諾の取り方の教

育について」のアンケートを実施。近日報告書公開予定

- ⑦ 全国区理事を男女両性で構成する形にすることの提案。後ほど協議事項で諮り, 今秋の選挙から実施を予定。
 - (4) 研究教育について
 - ① 病理学術・生涯教育サポートシステムの充実に取り組んでいる。
 - ② 「病理コア画像」の英語版が完成した。さらにコアカリキュラムに対応した見直しも検討する。
 - ③ 国際交流活動については, さらにヨーロッパ病理学会との交流を検討する。
 - (5) AMED: JP-AID 事業/病理画像(P-WSI)情報集積プラットフォーム構築事業について
 - ① 23の協力施設から11万件を超える病理画像を集積し, ビッグデータの活用に資するような形で提供するという枠組みで, 画像収集も順調に進んでいる。
 - ② 人工知能(AI)の利活用をし, 病理診断支援システムの開発研究につなげる。
 - ③ 事業継続のため, 地域密着型の実証実験モデル拠点を増やす予定である。
 - (6) 病理業務をめぐる状況について
 - ① 診療報酬改定については, 保険医療機関間連携の促進のための要望を行う。
 - ② がん対策推進基本計画改定において, 臨検法での遺伝子検査の取扱が問題となっている。この件については, この後, 検査医学会の矢富理事長の講演がある。
 - ③ 病理診断報告書 患者伝達確認のためのマニュアルを策定する。
 - ④ 癌取扱い規約で用語統一化に向けた取り組みを行っている。
 - ⑤ デジタルパソロジー活用のための手引きの整備をおこなった。
- #### 2. 新専門医制度開始にあたって
- 北川昌伸常任理事より, 平成30年度からの日本専門医機構(以下機構)による新専門医制度開始にあたり, 機構の専攻医登録システムやその運用スケジュール及び各施設での対応等につき説明があった。

3. 会員システムログインのお願い

安井弥副理事長より、会員システムの利用状況等につき報告があった。秋の役員選挙、またその後の各種利用に向けて、まだシステムにログインしていない会員に向けて早急な対応が依頼された。

4. 各種委員会報告

(1) 安井弥副理事長より担当委員会報告があった。

1) 広報委員会報告

会員システムについては、次の段階として、各種講習会の参加登録等への利用を考えており、準備を進めている。

2) 社会への情報発信委員会（伊藤智雄委員長）報告

- ① 平成28年夏に開催された HANSHIN 健康メッセへ病理学会として出展し好評であった。
- ② 市民向けの10分間ほどの広報動画が完成し、HPにて公開予定である。
- ③ 学術集会会期中に、中学・高校生に向けたブースを設置することなどを検討する。

3) 倫理委員会（横崎宏委員長）報告

JP-AID 研究における各支部保有データの取扱い、学術集会における演題登録等につき審議を行った。

4) 病理医・研究医の育成とリクルート委員会（豊國伸哉委員長）報告

- ① 「レジナビ」に参加し、本年も好評であった。
- ② 「100周年記念病理学研究新人賞」の応募資格を33歳以下とすることとし、次回募集より適用する。

5) 学術奨励賞選考委員会報告

上記4)②の見直しとあわせて、学術奨励賞選考委員会では、その応募資格を40歳以下、あるいは学位取得後10年以内で会員歴5年以上のものに変更した。

(2) 小田義直常任理事より担当委員会の報告があった。

1) ゲノム病理診断検討委員会及びゲノム病理組織取扱い規約委員会（金井弥栄委員長）報告

AMED（日本医療研究開発機構）からの委託研究「ゲノム研究用規定の策定および実証研究」の件につき報告があった。

- ① 5/26のAMED最終ヒアリングにて「Excellent/大変優れている」の評価を受けた。
- ② 認証機能付き e-learning system を現在構築しており、病理専門医制度、認定病理検査技師制度とのリンクを検討している。
- ③ 規程集の英文化を行い“Pathology International”に投稿した。

2) ゲノム診療用病理組織検体取扱い規程策定WG報告

「ゲノム診療用病理組織検体取扱い規程」について報告があった。

- ① 8月にHP上でパブリックコメントを実施した。

② PDF版を学会HPに9/15に公開した。

③ 実証データの統計解析を現在も行っており、終了後データ差し替え予定である。

④ AMED 吉野班の補正予算から実証データ解析、動画による e-learning system, 冊子体印刷、英文化等に対し、費用の支援の申し出がある。

3) ゲノム診療のための病理診断医の育成WGを設置し、分子病理診断医（仮称）といった学会認定の資格について検討しており、平成30年度に確立予定である。

4) 男女共同参画委員会（橋本優子委員長）報告

- ① 託児サービスの充実・継続をする。
- ② 男性医師を対象とした企画を実施する。
- ③ 女性学術評議員の割合の数値目標を20%に設定する。

5) 病事情報ネットワーク管理運営委員会（宇於崎宏委員長）報告

① サーバーは関東・中部・中国・四国支部で活発に利用されているほか、肺癌学会病理委員会や生涯教育委員会で活用されている。

② バーチャルスライドサーバーが2018年2月で保守期限満了となるため、AMEDのJP-AIDプロジェクトのサーバー設置とリンクを検討している。

(3) 坂元亨宇常任理事より担当委員会報告があった。

1) Pathology International 編集委員会報告

① Pathology International High Citation 賞論文5本を決定した。内2本がCase Reportであった。

② 投稿数全体は増加傾向だが、会員にはOriginal Articleについて積極的な投稿をお願いする。

③ Original Articleに限定して、既に会員に提供されているカラーチャージのフリーに加えてページチャージの無料化を1月より実施する方針である。

(4) 高橋雅英常任理事より担当委員会関係報告があった。

1) 学術委員会報告

① 春期総会の開催時期は原則4月～5月中旬までとする。

② 現在秋期特別総会は関東地区とその他の地区の隔年開催としていたが、平成33年第66回の秋期特別総会からこれを廃止し、地域を問わず開催可能とする。

③ 第110回総会及び第66回秋期特別総会会長の公募は平成30年1月より開始予定である。

④ 第64回秋期特別総会からB演説を「症例研究賞」として顕彰化する。対象は「症例の蓄積による解析及び病理診断・病態解明に寄与する研究であること」とした。

⑤ 第108回（平成31年度）春期総会宿題報告担

当者を以下の通り選出した。

- i. 古川 徹 東北大学大学院医学系研究科病理形態学分野 教授
 - ii. 松田 道行 京都大学大学院医学研究科病態生物医学 教授
 - iii. 浅田祐士郎 宮崎大学医学部病理学講座 教授
- ⑥ 第64回(平成30年)秋期特別総会病理診断学特別講演担当者を以下の通り選出した。
- i. 石川 雄一 がん研究会がん研究所病理部 病理部長
 - ii. 伊藤 雅文 名古屋第一赤十字病院病理部 病理部長
- 2) 教育委員会(笹野公伸委員長)報告
病理コア画像の英語化を実施した。
- (5) 北川昌伸常任理事より担当委員会報告があった。
- 1) 病理専門医制度運営委員会及び口腔病理専門医制度運営委員会(長塚 仁委員長)報告
- ① 平成29年度病理専門医試験及び口腔病理専門医試験報告
- i. 試験結果は以下の通りであった。
 - ・医科 86人受験 71人合格 合格率82.6%
 - ・口腔 13人受験 11人合格 合格率84.6%
 - ii. 試験実施委員は以下の通りであった。
 - ・医科: 廣瀬 隆則(委員長), 井上 健, 児玉 良典, 桜井 孝規, 全 陽, 蔦 幸治, 中井登紀子, 伴 慎一, 村田 晋一, 柳井 広之, 山本 浩平
 - ・口腔: 柳下 寿郎(委員長), 田沼 順一, 松本 直行
- ② 病理専門医資格更新関係報告
- i. 平成28年秋 専門医資格更新申請の認定結果は, 日本専門医機構認定病理専門医387名, 日本病理学会病理専門医39名であった。
 - ii. 平成29年秋 専門医資格更新予定者は, 対象者462名及び復帰希望者7名 469名で, 11月下旬に病理学会資格更新審査委員会で審査(一次審査), さらに機構専門医への申請者は機構の委員会にて二次審査を行う。
- (6) 落合淳志理事より担当委員会報告があった
- 1) 編集委員会報告
「Pathology International」, 「診断病理」とともに編集は順調であるが, 特に「診断病理」への積極的な投稿をお願いする。
- 2) 癌取扱い規約委員会報告
日本癌治療学会と日本病理学会が合同で, 全26の癌取扱い規約の記載方法の統一を図る目的で, 領域横断的癌取扱い規約の作成を進めており, 早ければ平成30年11月頃に刊行となる。
- (7) 森井英一理事より担当委員会報告があった。

- 1) 剖検・病理技術委員会(柳井広之委員長)報告
剖検に特化した診断講習会及び「診断病理」における剖検についての総説の連載に取り組んでいる。
 - 2) 海外研修委員会(真鍋俊明委員長)報告
センメルweis大学での剖検セミナーは大変充実しており好評である。HPへの参加報告記事等も参照して欲しい。
 - 3) 精度管理委員会(増田しのぶ委員長)報告
「病理検体取扱いマニュアル」策定1年後のアンケート調査を実施した。半数超の施設が参考資料として活用している。この「マニュアル」は遵守を義務づけたものではないので, より多くの施設の活用を期待している。
 - 4) ガイドライン委員会報告
上記3)のマニュアルに引き続き, 「病理診断報告書 患者伝達確認のためのマニュアル」を策定中である。
- (8) 田中伸哉理事より委員会報告があった
- 1) 研究推進委員会報告
- ① 病理学会カンファレンスは本年より会場を六甲から犬山に移し開催している。2018年は8月3日・4日に森井理事を世話人として開催予定である。多くの若手会員の参加を期待している。
 - ② 分子病理講習会については, 第107回札幌総会の初日に開催予定である。
 - ③ 「次世代病理技術講習会」として, 札幌総会の前日に, 初学者30名限定とした講習会を開催予定である。
- 2) サマーフェスト委員会(羽賀博典委員長)報告
今回は平成30年8月25日から湊宏学術評議員を世話人として頭頸部がんをテーマに東京大学で開催予定である。
- 3) 診療関連死調査に関する委員会報告
- ① 医療安全調査機構によると, 医療事故はこの2年間で約750件報告されており, 解剖率は司法解剖も含めて41%ほどである。
 - ② 本学会も協力団体として, 8月末までに機構のセンター調査16件に委員派遣を行ってきた。引き続き会員のご協力をお願いする。
5. 第63回(平成29年度)秋期特別総会の件
議長の清水副会長より, 本日より2日間の日程で東京の教育会館にて開催中との報告があった。
6. 第107回(平成30年度)総会の件
笠原正典会長より, 平成30年6月21日(木)~23日(土)の3日間, ロイトン札幌, 及びホテルさっぽろ芸文館にて開催されるとの報告があった。
7. 第64回(平成30年度)秋期特別総会の件
谷山清己会長より, 平成30年11月22日(木)~23日(金・祝)の2日間, 呉市文化ホールにて開催されるとの報告があった。

8. 第108回(平成31年度)総会の件
坂元亨宇会長より、平成31年5月9日(木)～11日(土)の3日間、東京国際フォーラムにて開催されるとの報告があった。

その他

1. 福本 学功労会員から、名誉会員の逝去時等の慶弔規定について質問があった。

この件につき深山理事長より、現状特段のものはなく、学会内では希望に応じて追悼文の掲載を行っているとの説明があった。さらにこの件について関係委員会に検討依頼をする旨も述べられた。

以上

2. 平成30年度病理専門医研修施設更新機関

(1) 以下268の認定施設更新が承認されました。

現在の認定施設総数は417です。

期間2年間 平成30年4月1日～平成32年3月31日

認定番号	施設名
1001	市立札幌病院
1003	市立旭川病院
1004	公益社団法人北海道勤労者医療協会勤医協中央病院
1005	市立函館病院
1008	JA北海道厚生連帯広厚生病院
1015	市立室蘭総合病院
1019	JA北海道厚生連札幌厚生病院
1901	旭川医科大学病院
1902	北海道大学病院
1903	札幌医科大学附属病院
2001	青森県立中央病院
2002	岩手県立中央病院
2003	独立行政法人国立病院機構仙台医療センター
2008	社会医療法人明和会中通総合病院
2010	一般財団法人太田総合病院附属太田西ノ内病院
2011	八戸市立市民病院
2014	いわき市立総合磐城共立病院
2018	由利組合総合病院
2019	地方独立行政法人山形県・酒田市病院機構日本海総合病院
2030	秋田県厚生連平鹿総合病院
2031	公立置賜総合病院
2901	弘前大学医学部附属病院
2902	秋田大学医学部附属病院
2903	岩手医科大学附属病院
2904	東北大学病院
2905	山形大学医学部附属病院
2906	福島県立医科大学附属病院
3004	千葉県がんセンター
3005	国立研究開発法人国立がん研究センター中央病院
3007	独立行政法人国立国際医療研究センター病院
3008	NTT 東日本関東病院

3009	地方独立行政法人東京都健康長寿医療センター
3010	独立行政法人国立病院機構東京医療センター
3011	東京通信病院
3012	聖路加国際病院
3014	社会福祉法人同愛記念病院
3015	武蔵野赤十字病院
3016	川崎市立川崎病院
3017	横浜市立市民病院
3018	神奈川県立がんセンター
3024	自衛隊中央病院
3026	神奈川県立こども医療センター
3027	藤沢市民病院
3031	松戸市立総合医療センター
3032	がん・感染症センター都立駒込病院
3038	国立研究開発法人国立国際医療研究センター国府台病院
3041	社会福祉法人三井記念病院
3042	公益財団法人東京都保健医療公社豊島病院
3043	東京都立広尾病院
3055	国家公務員共済組合連合会横須賀共済病院
3056	東京山手メディカルセンター
3058	独立行政法人労働者健康安全機構関東労災病院
3065	栃木県立がんセンター
3066	足利赤十字病院
3068	医療法人鉄蕉会亀田総合病院
3075	公益財団法人東京都保健医療公社多摩北部医療センター
3083	川口市立医療センター
3088	成田赤十字病院
3089	東京医療生活協同組合新渡戸記念中野総合病院
3090	大和市立病院
3102	医療法人財団東京勤労者医療会東葛病院
3103	医療法人沖繩徳洲会湘南鎌倉総合病院
3108	上都賀総合病院
3109	独立行政法人国立病院機構高崎総合医療センター
3110	国立研究開発法人国立成育医療研究センター
3121	独立行政法人国立病院機構東京病院
3122	独立行政法人国立病院機構横浜医療センター
3134	医療法人社団圭春会小張総合病院
3135	国家公務員共済組合連合会立川病院
3136	青梅市立総合病院
3138	社会医療法人ジャパンメディカルアライアンス海老名総合病院
3142	社会医療法人財団石心会埼玉石心会病院
3143	医療法人社団日高会日高病院
3146	社会福祉法人親善福祉協会国際親善総合病院
3147	聖隷横浜病院
3901	自治医科大学附属病院
3902	獨協医科大学病院
3903	群馬大学医学部附属病院
3904	筑波大学附属病院
3905	埼玉医科大学病院
3906	防衛医科大学校病院

3907	千葉大学医学部附属病院	4031	愛知県厚生農業協同組合連合会安城更生病院
3908	順天堂大学医学部附属順天堂医院	4032	総合大雄会病院
3909	慶應義塾大学病院	4037	石川県立中央病院
3910	日本大学医学部附属板橋病院	4038	長野県厚生農業協同組合連合会北信総合病院
3911	日本医科大学付属病院	4040	新潟県立中央病院
3912	東京医科大学病院	4052	焼津市立総合病院
3913	東京慈恵会医科大学附属病院	4053	沼津市立病院
3914	東京女子医科大学病院	4056	市立砺波総合病院
3915	東邦大学医療センター大森病院	4057	社会医療法人財団慈泉会相澤病院
3916	昭和大学病院	4061	長野県厚生農業協同組合連合会 南長野医療センター篠ノ井総合病院
3917	東京医科歯科大学医学部附属病院	4063	福井県立病院
3918	東京大学医学部附属病院	4064	富士宮市立病院
3919	杏林大学医学部付属病院	4065	浜松医療センター
3920	帝京大学医学部附属病院	4070	静岡県立静岡がんセンター
3921	聖マリアンナ医科大学病院	4071	春日井市民病院
3922	北里大学病院	4079	医療法人立川メディカルセンター立川総合病院
3923	東海大学医学部付属病院	4080	総合病院南生協病院
3924	横浜市立大学附属病院	4084	市立四日市病院
3926	獨協医科大学埼玉医療センター	4085	愛知県厚生農業協同組合連合会豊田厚生病院
3927	埼玉医科大学総合医療センター	4086	社会医療法人宏潤会大同病院
3928	自治医科大学附属さいたま医療センター	4089	国際医療福祉大学熱海病院
3929	帝京大学ちば総合医療センター	4090	伊勢赤十字病院
3930	順天堂大学医学部附属浦安病院	4091	一宮市立市民病院
3931	東京慈恵会医科大学附属柏病院	4092	磐田市立総合病院
3932	東邦大学医療センター佐倉病院	4093	市立島田市民病院
3933	日本医科大学千葉北総病院	4094	地方独立行政法人桑名市総合医療センター桑名東医療センター
3934	日本大学病院	4901	浜松医科大学医学部附属病院
3935	東京慈恵会医科大学附属第三病院	4903	山梨大学医学部附属病院
3936	東邦大学医療センター大橋病院	4904	信州大学医学部附属病院
3938	東京女子医科大学東医療センター	4905	富山大学附属病院
3939	日本医科大学多摩永山病院	4906	金沢大学附属病院
3941	東京医科大学八王子医療センター	4907	金沢医科大学病院
3942	順天堂大学医学部附属順天堂東京江東高齢者医療センター	4908	福井大学医学部附属病院
3943	聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院	4909	名古屋大学医学部附属病院
3944	昭和大学藤が丘病院	4910	名古屋市立大学病院
3945	横浜市立大学附属市民総合医療センター	4911	愛知医科大学病院
3946	日本医科大学武蔵小杉病院	4912	藤田保健衛生大学病院
3948	帝京大学医学部附属溝口病院	4913	岐阜大学医学部附属病院
3949	昭和大学横浜市北部病院	4914	三重大学医学部附属病院
3950	埼玉医科大学国際医療センター	4917	順天堂大学医学部附属静岡病院
3951	順天堂大学医学部附属練馬病院	5002	京都第一赤十字病院
4001	新潟県立がんセンター新潟病院	5003	大阪赤十字病院
4002	静岡済生会総合病院	5004	地方独立行政法人大阪府立病院機構大阪国際がんセンター
4004	独立行政法人国立病院機構名古屋医療センター	5005	公益財団法人天理よろづ相談所病院
4011	静岡県立こども病院	5006	神戸市医療センター中央市民病院
4012	静岡市立静岡病院	5011	独立行政法人国立病院機構大阪医療センター
4013	岐阜県総合医療センター	5014	大津赤十字病院
4014	三重県厚生農業協同組合連合会松阪中央総合病院	5015	独立行政法人地域医療機能推進機構 (JCHO) 大阪病院
4021	名古屋掖済会病院	5016	国立研究開発法人国立循環器病研究センター
4022	岐阜市民病院	5018	パナソニック健康保険組合松下記念病院
4028	岡崎市民病院		

5026	淀川キリスト教病院	6053	独立行政法人労働者健康安全機構中国労災病院
5027	公益財団法人田附興風会医学研究所北野病院	6901	徳島大学病院
5028	社会医療法人同仁会耳原総合病院	6902	香川大学医学部附属病院
5029	独立行政法人国立病院機構大阪南医療センター	6903	高知大学医学部附属病院
5030	公益社団法人京都保健会京都民医連中央病院	6904	愛媛大学医学部附属病院
5031	大阪警察病院	6905	岡山大学病院
5035	社会医療法人愛仁会高槻病院	6906	川崎医科大学附属病院
5038	京都第二赤十字病院	6907	広島大学病院
5042	地方独立行政法人神戸市民病院機構 神戸市立西神戸医療センター	6908	鳥取大学医学部附属病院
5045	医療法人徳洲会岸和田徳洲会病院	6909	島根大学医学部附属病院
5052	市立長浜病院	6910	山口大学医学部附属病院
5054	社会福祉法人京都社会事業財団京都桂病院	7004	独立行政法人国立病院機構長崎医療センター
5057	地方独立行政法人堺市立病院機構堺市立総合医療センター	7005	大分県立病院
5058	地方独立行政法人りんくう総合医療センター	7006	沖縄県立中部病院
5059	箕面市立病院	7009	地方独立行政法人佐賀県医療センター好生館
5060	公立学校共済組合近畿中央病院	7015	小倉記念病院
5075	社会医療法人愛仁会千船病院	7016	飯塚病院
5076	関西電力病院	7024	宮崎県立延岡病院
5077	大阪府済生会中津病院	7028	社会福祉法人恩賜財団済生会支部福岡県済生会福岡総合病院
5078	医療法人 明和病院	7031	地方独立行政法人那覇市立病院
5087	社会医療法人生長会府中病院	7036	社会福祉法人恩賜財団済生会熊本病院
5091	高槻赤十字病院	7038	独立行政法人国立病院機構九州医療センター
5093	社会医療法人神鋼記念会 神鋼記念病院	7043	公立学校共済組合九州中央病院
5095	市立伊丹病院	7044	健和会大手町病院
5901	京都大学医学部附属病院	7045	医療法人徳洲会福岡徳洲会病院
5902	京都府立医科大学附属病院	7901	産業医科大学病院
5904	大阪医科大学附属病院	7902	久留米大学病院
5905	大阪市立大学医学部附属病院	7903	九州大学病院
5906	大阪大学医学部附属病院	7904	福岡大学病院
5907	近畿大学医学部附属病院	7905	佐賀大学医学部附属病院
5908	和歌山県立医科大学附属病院	7906	熊本大学医学部附属病院
5909	兵庫医科大学病院	7907	長崎大学病院
5910	神戸大学医学部附属病院	7908	大分大学医学部附属病院
5912	近畿大学医学部奈良病院	7909	宮崎大学医学部附属病院
5913	奈良県立医科大学附属病院	7910	鹿児島大学病院
5914	滋賀医科大学医学部附属病院	7911	琉球大学医学部附属病院
5915	関西医科大学附属病院		
6001	公益財団法人大原記念倉敷中央医療機構倉敷中央病院		(2) 以下 204 の登録施設の更新が承認されました。
6002	岡山済生会総合病院		現在の登録施設総数は 398 です。
6003	独立行政法人国立病院機構岡山医療センター		期間 2 年間 平成 30 年 4 月 1 日～平成 32 年 3 月 31 日
6004	県立広島病院		登録番号 施設名
6006	地方独立行政法人広島市立病院機構広島市立広島市民病院	1004	独立行政法人労働者健康安全機構釧路労災病院
6011	国家公務員共済組合連合会呉共済病院	1006	独立行政法人国立病院機構旭川医療センター
6015	独立行政法人国立病院機構呉医療センター・中国がんセンター	1008	JR 札幌病院
6016	愛媛県立中央病院	1009	国家公務員共済組合連合会斗南病院
6030	鳥取県立中央病院	1013	社会医療法人母恋日鋼記念病院
6031	住友別子病院	1014	医療法人徳洲会札幌徳洲会病院
6042	福山市民病院	1015	独立行政法人地域医療機能推進機構北海道病院
6043	広島県厚生農業共同組合連合会尾道総合病院	1016	NTT 東日本札幌病院
6052	社会医療法人近森会近森病院	1019	医療法人王子総合病院

1020	函館厚生院函館中央病院	3141	国立精神・神経医療研究センター病院
1029	医療法人彰和会北海道消化器科病院	3151	茨城県厚生連総合病院水戸協同病院
1030	北海道社会事業協会小樽病院	3152	JA とりで総合医療センター
1035	岩見沢市立総合病院	3153	群馬県立小児医療センター
1036	市立千歳市民病院	3154	医療法人財団明理会 新松戸中央総合病院
1037	市立稚内病院	3155	公益財団法人東京都医療保健協会 練馬総合病院
1038	市立釧路総合病院	3156	東京慈恵会医科大学葛飾医療センター
1041	社会医療法人母恋 天使病院	3157	JCHO 東京新宿メディカルセンター
1047	独立行政法人地域医療機能推進機構 札幌北辰病院	3158	医療法人社団こうかん会 日本鋼管病院
2004	福島県立医科大学会津医療センター	3159	市立甲府病院
2017	公益財団法人星総合病院	3901	東京大学医科学研究所附属病院
2018	岩手県立大船渡病院	3903	東海大学医学部附属八王子病院
2020	公立刈田総合病院	3904	東海大学医学部附属大磯病院
2021	宮城県立がんセンター	3907	東京医科大学茨城医療センター
2022	独立行政法人地域医療機能推進機構仙台病院	4008	名鉄病院
2024	(一財)脳神経疾患研究所附属総合南東北病院	4019	市立伊勢総合病院
2030	青森労災病院	4031	公立学校共済組合東海中央病院
2032	大館市立総合病院	4037	佐久市立国保浅間総合病院
2036	公立藤田総合病院	4039	国家公務員共済組合連合会名城病院
2038	黒石市国民健康保険黒石病院	4040	総合病院中津川市民病院
2039	八戸赤十字病院	4045	みなと医療生活協同組合協立総合病院
2040	弘前市立病院	4051	医療法人社団健和会健和会病院
2045	医療法人徳洲会仙台徳洲会病院	4057	松阪市民病院
2046	公益財団法人仙台市医療センター仙台オープン病院	4061	豊川市民病院
2047	栗原市立栗原中央病院	4070	飯田市立病院
2048	鶴岡市立荘内病院	4071	大垣市民病院
2049	山形県立新庄病院	4072	羽島市民病院
3001	社会福祉法人恩賜財団済生会支部栃木県済生会宇都宮病院	4074	諏訪中央病院
3009	独立行政法人国立病院機構霞ヶ浦医療センター	4075	西尾市民病院
3013	公益社団法人東京都教職員互助会三楽病院	4079	独立行政法人労働者健康安全機構新潟労災病院
3022	独立行政法人国立病院機構災害医療センター	4085	長野市民病院
3026	平塚市民病院	4086	長野県厚生農業協同組合連合会長野松代総合病院
3035	国家公務員共済組合連合会九段坂病院	4091	金沢市立病院
3043	医療法人社団誠馨会千葉メディカルセンター	4092	福井県済生会病院
3070	公益財団法人東京都保健医療公社東部地域病院	4093	岐阜県厚生農業協同組合連合会中濃厚生病院
3073	SUBARU 健康保険組合太田記念病院	4096	公立松任石川中央病院
3074	医療生協さいたま生活協同組合埼玉協同病院	4097	南砺市民病院
3076	社会福祉法人浴風会浴風会病院	4113	長野中央病院
3086	草加市立病院	4114	福井赤十字病院
3094	公益財団法人結核予防会複十字病院	4116	社会医療法人厚生会木沢記念病院
3095	独立行政法人国立病院機構東埼玉病院	4130	飯山赤十字病院
3111	公益財団法人ライフ・エクステンション研究所 付属永寿総合病院	4140	北アルプス医療センターあづみ病院
3114	那須赤十字病院	4141	独立行政法人労働者健康安全機構 富山労災病院
3116	町田市民病院	4901	藤田保健衛生大学坂文種報徳會病院
3117	済生会横浜市東部病院	5022	兵庫県立柏原病院
3122	原町赤十字病院	5047	地方独立行政法人大阪府立病院機構 大阪はびきの医療センター
3123	館林厚生病院	5050	京都鞍馬口医療センター
3131	さいたま市立病院	5051	市立加西病院
3132	国保直営総合病院君津中央病院	5059	兵庫県立こども病院
3139	東京北医療センター	5062	社会医療法人誠光会草津総合病院

5063	大津市民病院	6065	総合病院山口赤十字病院
5069	大阪府済生会富田林病院	6066	医療法人社団 宇部興産中央病院
5070	市立ひらかた病院	6071	独立行政法人国立病院機構広島西医療センター
5071	地方独立行政法人明石市立市民病院	6072	JR 広島病院
5072	赤穂市民病院	6073	滝宮総合病院
5073	独立行政法人国立病院機構姫路医療センター	6074	独立行政法人国立病院機構四国がんセンター
5074	独立行政法人国立病院機構東近江総合医療センター	6075	鳥取生協病院
5079	泉大津市立病院	6076	社会福祉法人恩賜財団済生会支部香川県済生会病院
5081	大阪府済生会茨木病院	6078	岡山赤十字病院
5088	大阪鉄道病院	6901	川崎医科大学総合医療センター
5089	姫路聖マリア病院	7007	独立行政法人国立病院機構別府医療センター
5096	橋本市民病院	7031	唐津赤十字病院
5098	宝塚市立病院	7036	独立行政法人労働者健康安全機構九州労災病院
5101	医療法人健康会 新京都南病院	7041	公益財団法人昭和会今給黎総合病院
5102	社会医療法人岡本病院 (財団) 京都岡本記念病院	7043	医療法人親仁会米の山病院
5103	地方独立行政法人奈良県立病院機構奈良県西和医療センター	7048	社会福祉法人恩賜財団済生会川内病院
5104	市立奈良病院	7050	沖縄県立北部病院
5105	大和高田市立病院	7051	沖縄県立南部医療センター・こども医療センター
5106	公立那賀病院	7055	独立行政法人国立病院機構小倉医療センター
5113	JCHO 滋賀病院	7056	医療法人社団高邦会高木病院
5114	独立行政法人国立病院機構京都医療センター	7057	社会福祉法人恩賜財団済生会支部済生会長崎病院
5115	地方独立行政法人京都市立病院機構京都市立病院	7058	長崎県島原病院
5116	独立行政法人地域医療機能推進機構星ヶ丘医療センター	7061	福岡県済生会二日市病院
5117	公益財団法人日本生命済生会付属日生病院	7062	独立行政法人国立病院機構嬉野医療センター
5118	社会福祉法人石井記念愛染園附属愛染橋病院	7063	独立行政法人国立病院機構熊本再春荘病院
5119	市立貝塚病院	7064	医療法人創起会くまもと森都総合病院
5120	医療法人橘会東住吉森本病院	7065	独立行政法人国立病院機構鹿児島医療センター
5125	医療法人医誠会 医誠会病院	7066	公益財団法人慈愛会今村総合病院
5126	社会福祉法人恩賜財団大阪府済生会吹田病院	7067	独立行政法人国立病院機構沖縄病院
5127	兵庫県立がんセンター	7068	社会医療法人白十字会白十字病院
5132	一般財団法人甲南会 甲南病院	7075	朝倉医師会病院
6015	徳島市民病院	7076	中津市民病院
6020	岡山労災病院	7077	独立行政法人地域医療機能推進機構諫早総合病院
6029	社会福祉法人恩賜財団済生会今治病院	7078	社会医療法人仁愛会浦添総合病院
6030	社会医療法人里仁会興生総合病院	7083	地方独立行政法人筑後市立病院
6031	香川医療生活協同組合高松平和病院	7084	社会医療法人敬愛会中頭病院
6034	独立行政法人労働者健康安全機構山陰労災病院	7091	社会医療法人 北九州病院北九州総合病院
6043	JA 高知病院	7092	一般財団法人福岡県社会保険医療協会社会保険田川病院
6047	国家公務員共済組合連合会高松病院	7093	地方独立行政法人大牟田市立病院
6048	高知県立幡多けんみん病院	7094	宗像水光会総合病院
6051	山口県済生会下関総合病院	7095	独立行政法人地域医療機能推進機構熊本総合病院
6052	独立行政法人地域医療機能推進機構下関医療センター	7096	社会医療法人友愛会豊見城中央病院
6055	鳥取赤十字病院	7100	九州旅客鉄道株式会社 JR 九州病院
6056	独立行政法人国立病院機構関門医療センター	7101	社会医療法人天神会 新古賀病院
6057	総合病院坂出市立病院	7902	福岡大学筑紫病院
6058	社会医療法人財団大樹会総合病院回生病院		
6061	心臓病センター榊原病院		
6062	独立行政法人国立病院機構岩国医療センター		
6063	山口県厚生農業協同組合連合会小郡第一総合病院		
6064	済生会山口総合病院		

3. 第107回日本病理学会総会におけるPINデスク設置について

日本病理学会 会員の皆さま

平素はPathology Internationalの編集にご協力を賜りありがとうございます。

このたび6月21日からの第107回日本病理学会総会におきましてPINデスクを設けさせて頂く運びとなりました。投稿や投稿システムについてのお問い合わせ、そのほかジャーナルにつきましてのご質問等、この機会にお持ち寄りいただけますと幸いです。またご投稿を検討中の方、ご同僚の方にもぜひご吹聴のほど、お願いいたします。総会期間中は常駐する予定となっております(21日正午～午後2:00をのぞく)。どうぞお気軽にお立ち寄りください。場所は日本病理学会事務局様の案内デスクの隣(予定)となっております。

お目にかかれますことを楽しみにいたしております。

敬具

Wiley

Editorial Assistant 福田祐子
pin@wiley.com

4. 日本病理学会誌第107巻1号(学会抄録号)について

1. 標記学会抄録集を会員向けに公開いたしました。

会員専用HP(UMIN-IDとパスワードが必要です)

https://center6.umin.ac.jp/oasis/pathology/pdf/sokai_program_180521.pdf

会員システム内よりダウンロード(会員番号とパスワードが必要です)

<https://member.pathology.or.jp/product/Cmn/WapCmn01P01.aspx>

2. 会場では簡易小冊子(ハンディ版)を無料でお配りします。また「プログラム検索アプリ」もご利用頂ける予定です。

3. 名誉会員・功労会員の先生方には、PDFデータをUSBメモリの形で郵送いたします。

4. 印刷冊子体での抄録集をご希望の方には有料販売となります。以下をご参照の上、お申し込み下さい。

1) 申し込み・問い合わせ・発送代行

笹氣出版印刷株式会社 担当: 横山誠一

〒108-0023 港区芝浦2-14-13 MCKビル2F

E-mail application-pjssp@sasappa.co.jp

TEL 03-3455-4415 FAX 03-3798-1372

2) 「日本病理学会誌107巻1号購入希望」と明記の上、以下の情報をe-mailまたはFAXにて、上記へお送り下さい。

1. 会員番号(非会員の場合はその旨を記載)

2. 氏名

3. 発送先住所・電話番号

4. 冊数

3) 価格 会員 1冊 3,000円(税込・送料込)

非会員 1冊 5,000円(税込・送料込)

4) 発送時期 6月初旬より順次発送予定です。

5) その他

※総会期間中、会場でも販売いたします。

※大会前受け取りをご希望の場合は、6月7日頃までにお申し込み下さい。

5. 第12回診断病理サマーフェスト—病理と臨床の対話—開催のお知らせ

本年度の診断病理サマーフェストを下記の要領で開催いたします

テーマ: 頭頸部腫瘍の病理と臨床

会期: 2018年8月18日(土)・19日(日)

会場: 東京大学 伊藤国際学術研究センター

伊藤謝恩ホール(東京都文京区本郷7-3-1)

対象者: 頭頸部病理に興味のある病理医、耳鼻咽喉科医、頭頸部外科医、歯科口腔外科医、放射線科医、細胞検査士

形式: 講義、質疑応答

内容:

◆8月18日(土)◆

【第1部】

口腔前癌病変と扁平上皮癌

歯原性腫瘍の病理

口腔領域の細胞診

口腔領域の病理診断と治療に関して

【第2部】

鼻副鼻腔腫瘍の病理

咽頭粘膜病変の病理

頭頸部領域の画像診断

頭頸部腫瘍(唾液腺を除く)の治療について

◆8月19日(日)◆

【第3部】

唾液腺腫瘍の病理

唾液腺病変の細胞診

唾液腺腫瘍の診断ストラテジー

唾液腺腫瘍の外科的および薬物治療について

定員: 350名(予定)

参加受付開始: 2018年5月15日(火)～(定員になり次第、締め切らせていただきます)

世話人: 湊 宏(石川県立中央病院 病理診断科)

参加申込先:

株式会社学会サービス 内

〒150-0032 東京都渋谷区鶯谷町7-3-101

TEL: 03-3496-6950 FAX: 03-3496-2150

E-mail: dpsf12@gakkai.co.jp

主催: 一般社団法人日本病理学会

お申込み等詳細につきましては以下ホームページをご参照ください。

<http://pathology.or.jp/news/whats/summerfest-180515.html>

6. 2018 年度剖検講習会について

2018 年 6 月 23 日(土)第 107 回日本病理学会総会(札幌)にて開催される剖検講習会についてお知らせいたします。

病理専門医試験受験予定者は受講必須の講習会です。未受講の方は受講し、受験資格用の受講証を取得してください。なお、受験資格用の受講証取得には当日、課題に対する回答レポートの提出が必要です。

口腔病理専門医受験予定者も平成 23 年度以降の歯科医籍登録者は受講必須の講習会です。

詳細は HP をご確認ください。

http://pathology.or.jp/news/Seminar_of_autopsy_diagnosis2018HP.pdf

7. 「アミロイドーシスの病型診断コンサルテーション」ご紹介

詳細は HP をご確認ください。

<http://amyloidosis-research-committee.jp/consultation/>

お知らせ

1. 平成 30 年度「日本医師会医学賞」ならびに「日本医師会医学研究奨励賞」について

標記の件につき本学会からの推薦を希望される会員は、日本医師会ホームページより要項を参照の上、6 月 15 日までに本学会事務局宛ご連絡下さい。

参照 HP: <http://www.med.or.jp/>

2. 「第 27 回木原記念財団学術賞」候補者推薦について

標記の件につき本学会からの推薦を希望される会員は下記を参照の上、8 月末日までに本学会事務局宛ご連絡下さい。

主催：公益財団法人木原記念横浜生命科学振興財団

参照 HP: <http://kihara.or.jp/>

3. AMED クリニカル・イノベーション・ネットワーク推進支援事業公開シンポジウムについて

会 期：平成 30 年 7 月 12 日(木)

13 時 00 分～17 時 45 分

会 場：星陵会館ホール

(東京都千代田区永田町 2-16-2)

対 象：一般の方、大学の方、病院の方、研究者、企業の方、行政の方等

定 員：300 名(事前申し込み先着順)

参加費：無料

4. 平成 31 年度科学技術分野の文部科学大臣表彰受賞候補者の推薦について

標記の件につき本学会からの推薦を希望される会員は、以下 HP を参照の上、6 月末までに本学会事務局宛ご連絡下さい。

http://www.mext.go.jp/b_menu/boshu/index.htm

2018 年



2018 年 IAP 日本支部病理学教育セミナーのお知らせ

IAP 日本支部主催 日本病理学会後援

日 時：2018 (平成 30) 年 11 月 24 日 (土)

場 所：広島国際会議場 広島市中区中島町 1-5 (平和記念公園内)

会 長：谷山 清己 (呉医療センター・中国がんセンター)

副会長：安井 弥 (広島大学大学院医歯薬保健学研究院分子病理学)

●病理診断講習会 午前 9:00～11:45

特別講演 (英語講演)

「Reflection on My Forty Two Years of “Skin Game” with a Special Report on Cutaneous Malignant Lymphoma in Northern Taiwan」

Tseng-tong Kuo, MD (Chang Gung Memorial Hospital, Taipei, Taiwan)

●教育講演 (テーマ：節外性リンパ腫)

1. 「節外性リンパ腫 (1)：イントロダクションと消化管 B 細胞リンパ腫」

吉野 正 (岡山大学大学院医歯学総合研究科病理学)

2. 「節外性リンパ腫 (2)：他臓器及び T/NK 細胞リンパ腫」

中村 直哉 (東海大学医学部基盤診療系病理診断学)

●スライドセミナー

1 時限目 13:00～15:00

*A-1 皮膚の腫瘍性疾患

新井 栄一 (埼玉医科大学国際医療センター病理診断科)

B-1 リンパ腫

竹内 賢吾 (公益財団法人がん研究会がん研究所分子標的病理プロジェクト・病理部)

C-1 非腫瘍性腸疾患 (腫瘍様病変も含む)

味岡 洋一 (新潟大学医歯学総合研究科分子・診断病理学分野)

D-1 頭頸部腫瘍の病理 (鼻副鼻腔中心)

湊 宏 (石川県立中央病院病理診断科)

2 時限目 15:15～17:15

*A-2 骨髄病理の基礎と診断

伊藤 雅文 (名古屋第一赤十字病院病理部)

B-2 周産期胎盤と絨毛性疾患

南口 早智子 (京都大学医学部附属病院病理診断科)

C-2 改訂 WHO 分類からみた脳腫瘍の病理診断

小森 隆司 (東京都立神経病院検査科)

D-2 小児腫瘍

田中 祐吉 (神奈川県立こども医療センター病理診断科)

* 印は新規コース

〔参加方法〕 IAP 日本支部ホームページにてオンライン登録 申し込み期間：2018 年 8 月 29 日 (水)～10 月 10 日 (水)までを予定しています。

午前の病理診断講習会、午後のスライドセミナーともに、事前の web 上での申し込み、及び事前の受講料の振り込みが必要です。当日会場での支払いは原則的に受け付けませんのでご注意ください。 スライドセミナーは、事前資料としてパワーポイントスライドを web 上で公開予定です。

〔資格更新単位〕 専門医更新単位は、午前中の診断講習会では各講演で 1 単位ずつ、午後のセミナーでは各コース 2 単位ずつの取得が可能です。

〔受講料 (1 コース)〕

	一般会員	ジュニア会員	シニア会員	非会員
病理診断講習会	5,000 円	3,000 円	無料	8,000 円
スライドセミナー (1 コース)	10,000 円	5,000 円	10,000 円	15,000 円

詳細・参加登録については IAP ホームページ <http://www.iapjapan.org> をご参照ください。

〔問い合わせ先〕

IAP 日本支部 教育委員長 長尾 俊孝

IAP 日本支部東京事務局 松原 修, 大谷 茉莉

(東京医科大学人体病理学分野)

Tel: 050-5274-8683

E-mail: tokyo.office@iapjapan.org

〒160-0023 東京都新宿区西新宿 6-7-1

TEL: 03-3342-6111 FAX: 03-3342-2062

Email: pathol-1@tokyo-med.ac.jp (事務担当 田中・篠田)

〔IAP 日本支部入会について〕

IAP 日本支部会員になると、病理学教育セミナーの会員割引 (上記をご参照ください)、USCAP 雑誌の会員価格での定期購読などの特典があります。詳細は IAP 日本支部のホームページをご覧ください。入会申し込みも同ホームページ上から可能です。

IAP 日本支部のホームページ: <http://www.iapjapan.org>

日本医学会だより

JAMS News

2018年5月 No.59
日本医学会

◆日本医学会協議会

日本医学会会長・副会長と日本医師会（日本医学会担当）役員で毎月開催している役員会議である。

◆第85回日本医学会定例評議員会

平成30年2月28日に開催した。平成29年度年次報告、平成30年度事業計画の報告の他、第30回日本医学会総会2019中部の開催準備状況、第31回日本医学会総会の会頭、会場、会期の報告（2023年4月21日～23日、東京国際フォーラム、会頭 春日雅人）等の議題があった。平成29年度新規加盟学会は、日本再生医療学会が承認され、129学会となった。

◆日本医学会加盟検討委員会

平成29年度第1回日本医学会加盟検討委員会を、平成29年12月6日に開催した。加盟申請の27学会についての審査を慎重に行い、その結果を平成30年1月12日の日本医学会協議会で門田会長に報告した。

◆第24回日本医学会公開フォーラム

「認知症の予防とケア」をテーマに、平成30年7月21日（土）13:00～16:05、日本医師会館大講堂において開催予定（組織委員長：秋山治彦・横浜市立脳卒中・神経脊椎センター臨床研究部部長）。市民を対象とした公開フォーラムである。参加費無料。終了後、ホームページにて映像配信する。

申し込み・詳細は日本医学会ホームページご

参照。

◆第153回日本医学会シンポジウム

「身近になったゲノム医療～研究から診療への課題～」をテーマに、6月2日（土）13:00～17:05、日本医師会館大講堂で開催予定（組織委員：福嶋義光、小西郁生）。参加費無料。終了後、ホームページにて映像配信する。

申し込み・詳細は日本医学会ホームページご参照。

◆日本医学会医学用語管理委員会

本年度は10月と12月の2回開催した。主な議題は「診療報酬制度」英語改定依頼、「日本医学会医学用語辞典」への提言に対する回答について、「優性」「劣性」の言い換えについて、日本ディスファーマシー患者会からの要望対応について「medical fee payment」の日本語訳について、等である。

また、平成29年9月に日本遺伝学会が発表した優性遺伝、劣性遺伝などの遺伝学用語の改訂提案に関してはマスコミで大きく取り上げられ、分科会の多数の学会に関連する用語であり、社会的な影響が大きいことから、本委員会の下に関係学会と共に「遺伝学用語改訂に関するワーキンググループ」を作り、検討を始めた。12月7日に第1回を開催し、現在までに4回を開催している。

平成29年12月22日に平成29年度分科会用語委員会を開催した。主な議題は世界と日本におけるICDの動向について、用語の言い換え

のプロセスについて、医学用語事典 WEB 版の使い方、遺伝学用語改訂に関するワーキンググループについて、「奇形」を含む医学用語の置き換え提案、分科会アンケートのまとめについてである。

◆「遺伝子・健康・社会」検討委員会

第 16 回委員会を、平成 29 年 8 月 29 日に開催した。委員会宛に提出された質問書について、日本遺伝性乳癌卵巣癌総合診療制度機構からの報告、「医療における遺伝学的検査・診断に関するガイドライン」について、ゲノム医療実現推進に向けた取り組み等についての議論が行われた。

◆日本医学会利益相反委員会

第 16 回委員会を、平成 29 年 10 月 17 日に開催した。主な議題は、① COI マネージメントの経緯と平成 29 年度の取り組み、② 乳がん臨床試験における利益相反に関しての要望書について、③ 日本医学雑誌編集者組織委員会活動報告等であった。

第 17 回委員会を、平成 30 年 3 月 29 日に開催した。① COI マネージメントの経緯と平成 30 年度の取り組み、② 「関わりのある企業等の COI 開示にかかる留意点」、③ 米国医学会 (JCO) の COI 管理の動向、④ 臨床研究法施行にかかる利益相反管理の概要、⑤ 日本医学雑誌編集者組織委員会活動報告等について意見交換を行った。

◆日本医学雑誌編集者組織委員会

第 19 回委員会を、平成 29 年 5 月 9 日に開催した。主な議題は、① 「日本医学会 医学雑誌編集ガイドライン」の更新、② 日本医学会利益相反委員会活動報告、③ 日本医学会連合研究倫理委員会活動報告、④ 改訂「提言」案についてであった。

第 20 回委員会を、平成 29 年 12 月 7 日に開催した。主な議題は、① 「第 4 回研究倫理教育研修会」、② APAME (アジア太平洋医学雑誌編

集者会議) 2017 報告、③ Journal of Human Genetics 掲載論文に関する質問書、④ 「日本医学会 医学雑誌編集ガイドライン」の更新、⑤ WHO-ICTRP の data set の動向、⑥ WPRIM (WHO 西太平洋地域版 Index Medicus) と WPRIMJ (同・国内委員会) の活動、⑦ 日本医学会利益相反委員会活動報告についてであった。

第 21 回委員会を、平成 30 年 2 月 21 日に開催した。主な議題は、① 「第 4 回研究倫理教育研修会」、② Journal of Human Genetics 掲載論文に関する質問書、③ 「日本医学会 医学雑誌編集ガイドライン」の更新、④ 日本医学雑誌編集者会議 (JAMJE) 総会・シンポジウムの開催、⑤ 日本医学会利益相反委員会活動報告、⑥ WHO 西太平洋地域医学情報データベース国内委員会 (WPRIMJ) の位置づけ、⑦ WHO International Clinical Trials Registry Platform (WHO ICTRP) の data set の日本語版についてであった。

◆医学賞・医学研究奨励賞

平成 30 年度日本医師会医学賞・医学研究奨励賞 (旧医学研究助成費) の推薦依頼を日本医師会雑誌の 5 月号に公示。受付期間は、5 月 15 日 (火)~7 月 3 日 (火)。推薦書・要項等は、公示日より日本医師会ホームページ (<http://www.med.or.jp/>) からダウンロードできる。

◆日本医学会への加盟申請

平成 30 年度の日本医学会への新規加盟申請は、5 月 15 日 (火) に公示 (日本医師会雑誌等) し、7 月 31 日 (火) に締め切る。申請書は、公示日より本会ホームページ (<http://jams.med.or.jp/>) からダウンロードできる。

◆移植関係学会合同委員会

平成 4 年 4 月に発足した本委員会は厚労省、日本医師会、関係学会で構成されており、世話人を日本医学会長が務めている。